

海外メディアによる被災地取材(欧州)

9月4日から12日「東日本大震災後の復興に向けた日本の歩み」をテーマとする記者招へいプログラムにより、欧州から5名の記者が訪日し、被災地での取材を行いました。

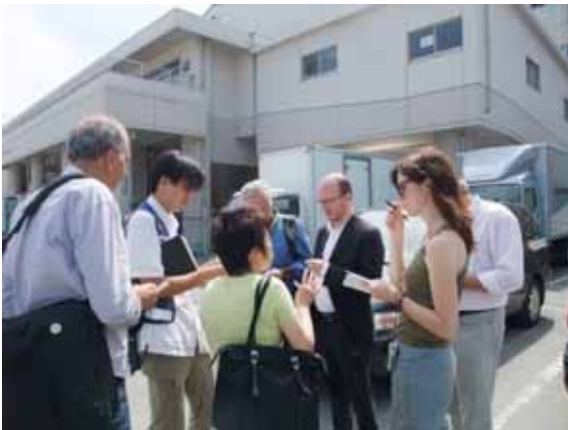
1. 震災により大きな被害を受けた仙台市、石巻市を訪問し、石巻市では亀山市長から震災による被害状況、復興状況、今後の課題等について説明を受けました。また、石巻商工会議所専務理事の高橋氏より、震災の石巻経済への影響、復興への課題について、石巻復興支援協議会の中川氏よりボランティア活動について宮城県漁業協同組合表浜支所運営委員長の木村氏からは、牡蠣養殖場の被害と復旧状況、震災時の状況につき説明を受けました。



亀山・石巻市長インタビュー



高橋・石巻商工会議所専務理事インタビュー



石巻復興支援協議会・中川氏インタビュー



木村・宮城県漁業協同組合表浜支所運営委員長インタビュー

2. 福島県では、佐藤福島県知事にインタビューを行い、復興への取り組みを取材しました。さらに、郡山市の企業(株)日本全薬工業(株)アサカ理研を訪問し、震災による被害と復旧状況について説明を受けました。また、震災への思いを詩に綴る和合亮一氏へのインタビューを行いました。



佐藤福島県知事へのインタビュー



(株)日本全薬工業での説明



(株)アサカ理研での工場視察



和合亮一氏へのインタビュー

3. こうした取材の結果、以下のような記事が掲載されました。

9月8日 デ・フォルクスクラント(オランダ)

「福島はベテランを必要としている」

9月19日 デ・フォルクスクラント(オランダ)

「瓦礫が除去され、まもなく機械が再び動き始めた」

9月12日 レプブリカ(イタリア)

「日本は我々と共に再出発する」

9月14日 ベルリーナー・ツァイトウング(ドイツ)

「福島のための熟練労働者」

9月15日 ベルリーナー・ツァイトウング(ドイツ)

「日本的革命」

9月19日 ラ・トリビューン(フランス)

「甚大な被害を受けた東北地方、廃墟と化すことを懸念」